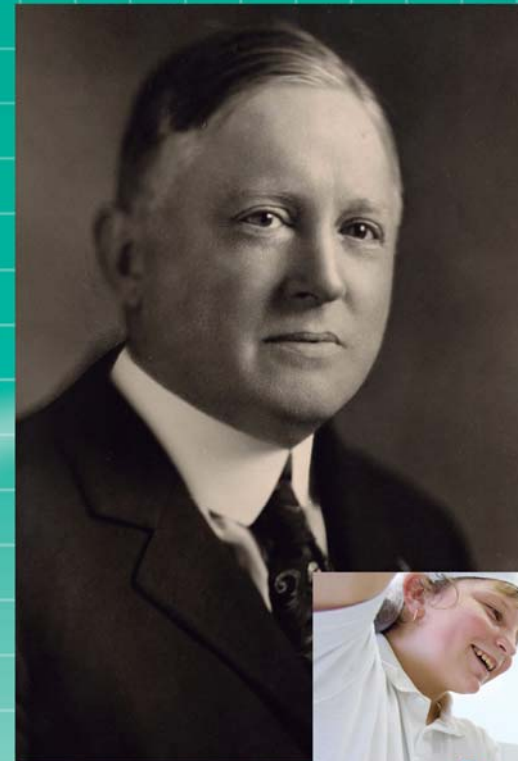


GOVERNOR'S Monthly Letter

5



Rotary
District 2510



人類に
奉仕する
ロータリー

国際ロータリー第2510地区 2016-2017年度ガバナー 武部 實

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7階 TEL(011)207-2510 FAX(011)207-2512
e-mail : rid2510@nifty.com <http://rid2510.org>

2016-2017年度国際ロータリーのテーマ

「人類に奉仕するロータリー」



国際ロータリー第2510地区 2016-2017年度地区目標

- 全クラブがMy Rotaryに、登録しロータリー・セントラルで目標を設定して下さい。
- 地区財団活動資金(DDF)の少なくとも20%以上をポリオプラスに寄贈する。
- ロータリー財団100周年を記念し、年次基金への寄付を前年度より5%増やす努力を。
- 地区全体の会員数を3%増やす努力を。

魅力あるクラブづくりで会員増強を

CONTENTS

- | | |
|--|--|
| ●ガバナーメッセージ……………1 | ●ロータリーコーディネーターNEWS……………7 |
| ●2017-2018年度地区研修・協議会報告……………2 | ●米山奨学生のご紹介／米山梅吉記念館便り……………8 |
| ●第29回全国ローターアクト研修会・海外研修旅行報告……………3 | ●ロータリー財団・米山記念奨学会寄付／ハイライトよねやま205号……………9 |
| ●第7グループインターシティミーティング開催報告……………4 | ●新会員のご紹介／訃報……………10 |
| ●苫小牧東ロータリークラブ創立25周年記念式典／長万部RC 東京RCにメーキャップへ……………5 | ●地区カレンダー……………11 |
| ●2016-17年度 RI会長賞について……………6 | ●出席率・会員数……………12 |
| | ●表紙の説明／文庫通信 |

公式訪問その5



国際ロータリー第2510地区

2016-2017年度ガバナー **武部 實**
(札幌南RC)

3月号で大韓民国RI第3700地区との再姉妹締結契約断念、4月号ではグループ再編を断念の緊急報告を致しました。今月は2月号に続き記憶を思い起こしながら各クラブの参考になる事柄を交え、公式訪問報告に戻ります。公式訪問はいよいよ後半になり9月7日の恵庭RCは43番目の公式訪問でした。

年代別青少年奉仕活動を実施する恵庭ロータリークラブ

恵庭ロータリークラブはローカル型ロータリーの代表的バランスの取れたロータリークラブです。特に年代別青少年奉仕活動は見事なものでありました。小学生を対象に子供相撲大会を実施。中学生を対象に恵庭ロータリー旗争奪少年野球大会を実施。高校生を対象に青少年交換留学を実施(2014年まで23名を派遣し22名を受け入れている)。大学生を対象に米山奨学生カウンセラーを積極的に引き受けている。その他「地域と共に」様々な奉仕活動を実施していました。恵庭ロータリークラブはバランスの取れた都市型、ローカル型いずれのロータリークラブのモデルになりうる称賛に値するクラブだと思います。

会員増強に入会基準の壁と垣根を取り省く室蘭北ロータリークラブ

公式訪問時点では会員数42名の室蘭北ロータリークラブであります。ここ3年間で19名が入会し8名が退会しました。しかし、差し引き11名の会員増でした。ここに会員増強のヒントがあると思います。入会に反対の会員がいたとしても理事会の判断を優先させ、今は肩書がなくとも積極的に仲間として迎え入れる心の広さが大切だと思います。自分と同じレベルの肩書を持つ人達を会員増強の対象とするのではなく、やんちゃな若者たちに目を向ける。私たちにもやんちゃで生意気な時代があったはず。入会してからロータリーを続けるかは本人の判断だと思います。入会基準の壁と垣根を取り省き積極的に会員増強に努力をしている室蘭北ロータリークラブをこれからの会員増強の参考にして頂きたいと思います。

全国唯一のロータリークラブとライオンズクラブの合同事務所、伊達ロータリークラブ

57名の会員を有する伊達のロータリークラブと同規模の伊達ライオンズクラブは合同事務所でした。更に事務は一人の女性が両クラブの事務処理を担当しているのです。私は常々ロータリークラブもライオンズクラブも、又、ソロプチミスト、青年会議所、地域のボランティア団体も奉仕の心を持つ人達の集まりであり、そこに垣根をつくっては本当の奉仕団体とは言えないと申して来ましたが、伊達ロータリークラブ、伊達ライオンズクラブのメンバーの心の広さに感銘を受けた次第です。又、全国34地区にその例がなく、将来の奉仕団体のあり方を暗示するものだと思います。

強カライオンズクラブの壁に直面する洞爺湖ロータリークラブ

伊達とは裏腹に洞爺湖ロータリークラブはライオンズクラブに圧倒される歴史でした。決して仲が悪い訳ではないが地域に極めて影響力のある人が熱狂的なライオンズマンであり、その為洞爺湖ロータリークラブの会員数は常に10名前後なのです。会長・幹事懇談会での雑談の中で大変面白い話になりました。ロータリアンの奥様方に「お花、お茶、舞踊」等を通じて地域のご婦人と大変多くの人脈があることがわかりました。この時点での私の発言を紹介いたしますと「夫に代わって奥様達にロータリアンになって頂いては」でした。これはあくまで冗談発言であります。一つのヒントにして頂きたいと思います。

つづく



2017-2018年度地区研修・協議会報告

国際ロータリー第2510地区

次期地区代表幹事 **森川 順治**
(函館RC)

4月9日(日)2017-2018年度の地区研修・協議会が札幌パークホテルを会場として開催されました。ガバナーエレクトの居住地である都市で開催するのが通例ですが、国立ガバナーエレクトの強い要望と地区内クラブ参加の利便性を考慮し、札幌市にて開催することと致しました。準備や運営について遠路ということもあり、コ・ホストとして札幌東RCに協力要請したところ、快くお引き受けいただきました。

午前10時、坂本次期地区副代表幹事より開会宣言、国立ガバナーエレクト点鐘(創立83年受け継がれた歴史のある梵鐘型ゴング)の荘厳な音色が本会議場に響きわたり、白石札幌東RC会長より歓迎の言葉に続き、武部ガバナーよりご挨拶を頂きました。国立ガバナーエレクトの基調講演発表に続き、塚原次期地区研修リーダー(PG)より「次年度の留意点」、丸山2016年規定審議会地区代表議員(PG)より「2016年規定審議会について」の講演をいただきました。次いで、嵯峨次期地区RI国際大会推進委員長(PG)より「トロント国際大会」参加の呼び掛けがあり午前の部が終了。

昼食後、酒井(PG)RI第1ゾーン・ロータリーコーディネーターと同期のガバナーとして活躍されましたRLI(ロータリーリーダーシップ研究会)日本支部ファシリテーター委員長中村靖治氏(第2770地区PG・吉川RC)に、「ロータリーを語ろう」の演題で、講演をいただきました。RLIはロータリーの組織や活動に関して正しく、深い知識を持ち、高い教育的な経験を備えた指導能力のあるロータリアンを支援するために活動をしており、現在日本国内34地区で20地区がRLI参加し、この度初めて津軽海峡を越え北海道に来たと話され、中村氏は前日の鹿児島県の講演後来道し日帰りで帰郷され、RLIの普及にご尽力され活動されております。

次いで、各分科会に移動し国立ガバナーエレクトが提唱された「地区委員会はクラブに何ができるのか」を課題に、各委員会委員長が地区研修・協議会開催前に奉仕活動の事前アンケート、奉仕活動の実践事例を集約し一覧表を作成するなどの準備をもって、短い討議時間を有効に使う事で活発な議論が交わされ内容の充実した討議会が行われました。休憩後、各分科会より取りまとめた内容を地区ホームページに掲載するなど、各クラブが今後の事業に生かせるよう取り組むとの分科会報告がありました。

武部ガバナーより公式訪問で各クラブから紹介された奉仕活動から参考になる事例の紹介を交えた所感をいただき、国立ガバナーエレクトより感謝の謝辞がありました。続いて、小泉次期地区大会実行委員長よりRI会長代理歓迎晩餐会でロシア料理フルコース、スパウズプログラムで巡る函館市内観光等異国情緒あふれる函館の魅力をアピールし地区大会へ多数の参加を呼びかけました。

藤原ソングリーダー(札幌東RC)のタクトに合わせ「手に手つないで」を合唱、宮崎函館RC会長より札幌東RCの皆さんがコ・ホストとして前日の準備段階から多数の動員をいただき、当日は各部署で協力して頂いたお礼を述べ閉会を宣言、国立ガバナーエレクトの点鐘で地区研修・協議会が無事終了致しました。



第29回全国ローターアクト研修会・海外研修旅行報告

地区ローターアクト委員会

委員長 **石山 嘉治**
(森RC)

海外で初めて開催される全国ローターアクト研修会に参加するため、三浦地区代表、吉田地区代表エレクト他5名のアクト、地区ローターアクト委員会より川本副委員長、今井委員、宇戸委員の11名に加え第2500地区辛島ローターアクト地区代表の総勢12名の一行で4月14日(金)新千歳空港より開催地であるグアムに向け出発。

今回の全国研修会ホスト地区である第2750地区は1973年7月より編入されたグアム・サイパン(パシフィックベースングループ)国を跨ぐグループを有する世界でも非常に珍しい地区であること、現在一部地区のみで実施されている海外研修をより多くの地区で実施することにより、広く世界のアクターと交流すること、加えて活動資金の自己調達を実践しているグアムのアクトクラブの実例を学び各アクトクラブの活動に生かす、パシフィックベースン地区との交流を図ることを目的に開催されました。通年3月に開催されていることや開催地が海外であることなどで例年に比較して参加人数が約半数となり、全国よりロータリアン51名、ローターアクト182名総勢233名が参集。

15日(土)午前8時、ハイアットリージェンシー・グアムにて代表者会議、午前10時30分より全国研修会が開会、来賓として米国Eddie Baza Calvoグアム準州知事より大会テーマ「time to THINK, time to ACT」(考え、行動するとき)に因み自分が何をしたいのか?自分が世界の為に何ができるか?歴史上の偉人は何をするか考えることから始めた。何をすべきかは、全体の5%で残りは自分の為すべきことを実現するために考えようと、アクトにエールを送りました。

浦林紳二在ハガツニャ日本国総領事よりチャモロ人(ミクロネシア・マリアナ諸島の先住民)との調和と友好そして互いに理解し交流するよう呼びかけられました。ホスト地区である国際ロータリー第2750地区大槻ガバナーはローターアクトとロータリーが共に親しく協力、信頼を持ち地区を越えた繋がり絆を深めて欲しい、そしてアクトの皆さんは卒業したらロータリーに入会するよう促しました。

続いてファンドレイズワークショップ講演ではグアムマリアナローターアクトクラブSophie D. Brindejonc会長よりアクト奉仕活動の実践紹介がありました。5kmマラソン企画運営ではスポンサーを探し4000ドルを集め骨の病気に苦しむ子供のハワイまでの渡航費助成、サイパン台風被害救済の為5万1千ドルを集め、エンドポリオのセルフイー(自撮り写真)を1人1ドルで370ドルの寄付をした事例を紹介、大会テーマ「考え、行動する」は参加したアクターはもとより、ロータリアンにとっても参考となる有意義な発表でした。昼食後オリエンテーリング研修を行い午後5時に閉会。

懇親会はバスで移動しグアムで最も美しいといわれるアガニ湾のサンセットを眺め、オリエンテーリング研修表彰式、ファイヤーダンスを觀賞してアクター、ロータリアン共にテーブルを囲み懇親を深めました。

16日(日)午前8時30分から太平洋戦争ツアー、チャモロ文化コース、自由行動に分かれ研修プログラムに出発、午後はタモン市内観光で常夏のグアムを満喫。アクターは夜遅くまで各地アクターと交流したようです。

17日(月)午前4時(1時間時差がある為日本時間午前3時)の早朝宿泊先のホテルを出発しグアム国際空港へ。早朝出発で寝坊できないと夜通し起きていたアクターは機内では塾睡していました。旅行中参加者が怪我、事故なく午前11時30分新千歳空港に到着後、三浦地区代表より安着の挨拶で現地解散となりました。

前年に比べ参加したアクターが少なかったのですが、武部ガバナー、橋本地区代表幹事、荒井地区担当幹事のご支援により、特別地区資金予備費の支出を頂き海外研修に合わせ、アクト活動ポロシャツを作成し第2510地区アクトの存在をアピールできたこと、地区委員会ロータリアンが4名参加し各地アクターやロータリアンとの交流を通じて今後の委員会運営に生かせる収穫があり、またアクターも「自ら行動しなければ何も始まらない」と訴えかけたグアム準州知事やグアムローターアクトクラブ会長の行動力には大いに学ぶべきものがあると実感したことは大きな収穫であったと思います。

製作したアクト活動ポロシャツ



ポロシャツ背面(英文)の文言
We Perform Volunteer Services & Enjoy Rotaract Club
邦文
奉仕を実践しよう そしてローターアクトを楽しもう

国際ロータリー第2510地区第7グループ インターシティミーティング開催報告

第7グループ ガバナー補佐 高木 繁秀(長沼RC)

3月26日(日)RI第2510地区第7グループインターシティ・ミーティングを長沼町総合福祉センター「りふれ」にて開催させていただきました。

当日はご来賓として、戸川雅光長沼町長、武部實ガバナー、橋本耕二地区代表幹事、佐藤秀雄パストガバナー、羽部大仁パストガバナー、石黒光男第5グループガバナー補佐をはじめ、多数の地区役員の皆様にご参加いただきましたことを感謝申し上げます。また、第7グループの各クラブの皆様方には全員登録を頂き多数の出席を頂きまして感謝を申し上げる次第であります。

長沼ロータリークラブがホストとして開催するIMは、今回で4回目となりますが、これまで第7グループ内の各クラブは、それぞれ特色ある青少年育成プログラム活動を継続的に行われていまして、「若者の育成とロータリー」を本年度のIMのテーマといたしました。

はじめに、元米山奨学生、現在学友委員会委員であり、札幌幌南ライラックロータリー衛星クラブ所属の李英愛(イ・ヨンエ)さんには、「米山奨学生からロータリアンへ」を題目に、ご講演を頂きました。つづいて、羽部大仁パストガバナーには、ロータリーの真髄である「奉仕の一世紀」を題目に、ご講演をいただきました。羽部パストガバナーと李さんには、本年度のIMテーマに沿ってそれぞれの立場からご講演をいただきまして、誠に感謝いたしております。

そして、武部實ガバナーからは御講評を頂き、今後のクラブ活動の参考になりました。懇親会では、知り合いを広め、親睦を深め、交流を楽しんで頂き、有意義な時間を過ごすことが出来ました。

今回のIMをホストして頂きました長沼ロータリークラブ会員の皆さんに感謝を申し上げましてご報告とさせていただきます。



苫小牧東ロータリークラブ創立25周年記念式典

苫小牧東RC会長 佐藤 正

苫小牧東ロータリークラブは4月1日、クラブ創立25周年事業及び記念祝賀会を例会場でもあるグランドホテルニュー王子にて武部實ガバナー、国立金助ガバナーエレクト、橋本耕二地区代表幹事、岩倉博文苫小牧市長他この地区のロータリアン、多くボランティア活動をしているライオンズ、ライオネス、ソロプチミスト、苫小牧青年会議所、会長、理事長そして経済界より宮本知治商工会議所会頭、福原次郎観光協会会長を招き盛大に周年事業を行いました。

苫小牧東RCは25周年記念事業として苫小牧市に対して、国際的に関して出来る事を二つの目的を計画致しました。一つはテーマ郵便番号「053の美しいまち苫小牧」サブテーマ「10年後に残したいワンシーン」として四季折々の風景・活動・生物・環境をイメージとしたフォトコンテストを実施して202作品の応募がありその中から東ロータリークラブ賞、特別賞、優秀賞17作品を選出してカレンダーを作成して関係者に配布いたしました。又会場、苫小牧市役所にも作品を展示しております。

二つとして国際的に1952年よりグアム・アンダーセン基地において今日まで66年間継続されておりますマイクロネシア地域にクリスマス時期に行われておりますクリスマスドロップ作戦に当クラブは5年前より参加しております。その際の協力を頂いております第2750地区グアムサンライズRC友好クラブ締結でした。昨年12月4日に現地で締結を交わし今回もグアムサンライズRCより、ラッキー坂元、マイケル・ペリンパスト会長夫妻も出席して会場を盛り上げて頂きました。

25周年事業には関係者の皆様大変お世話に成りました。改めて御礼を申し上げます。



長万部RC 東京RCにメーキャップへ

4月4日・5日、当クラブ創立50周年の前倒しで会員の家族含め14名で東京ロータリークラブにメーキャップに行ってきました。前日は友好クラブの東京葛飾中央ロータリークラブを訪問し交流を深めました。日本で一番最初のロータリークラブを訪問し貴重な体験をしてきました。



帝国ホテル会場内例会場



隅田川の屋台船で交流を深めた

2016-17年度 RI会長賞について

2016-17年度会長賞について、ジョン F. ジャームRI会長はすべてのクラブが会長賞をめざして活動することを望んでおられます。受賞資格を満たすため、会長賞項目を達成/完了したことを示すデータを、**6月30日までにMy ROTARY**からご入力いただきますようお願いいたします。

会長賞に向けたクラブの進捗状況をどこで確認できますか？

My ROTARYアカウントをお持ちの会員ならどなたでも、My ROTARYにログインして、クラブの「会長賞ダッシュボード」を見ることができます。My ROTARYメニューの「運営する」の「クラブと地区の運営」の下にある「各種レポート」をクリックし、「賞・表彰」セクションの下をご覧ください。ロータリークラブ・セントラルから会長賞項目に向けた活動データを入力できるのはクラブ役員だけですが、この権限を一時的に会員に委任することも可能です。詳しくは「[オンラインでの委任方法](#)」(PDF)をご覧ください。

ロータリークラブ・セントラルの目標は、会長賞の項目と違うものですか？

2016-17年度会長賞の項目の中には、ロータリークラブ・セントラルで報告や進捗確認ができるものもあります。これらの項目は会長賞パンフレット(PDF)に明記されています。これらの項目の達成状況をロータリークラブ・セントラルで適時に報告することは、クラブリーダーの責務となります。

そのほかの情報はどこで見られますか？

以下の情報も併せてご覧いただけます。

- 会長賞の各項目に関するガイド
- ロータリークラブ・セントラルのMembership in Club(クラブの会員)レポートで確認できる情報:
 - フォーラムのグループ(discussion groups)に参加した会員
 - My ROTARYのプロフィールにスキルと関心を入力した会員
 - 40歳未満の会員
- フォーラムで以下のグループに参加すれば、多くの情報が得られるだけでなく、会長賞項目を1つ満たすことができます(フォーラムへの参加は会長賞項目の1つです):
 - 2016-17 Presidential Citation and RI Awards(2016-17年度会長賞とRI賞)
 - Rotary Club Presidents 2016-17 Worldwide(全世界の2016-17年度ロータリークラブ会長)
 - Membership Best Practices(会員増強のベストプラクティス)

2016-17年度
2016年7月号～2017年6月号迄
財界さっぽろ全12号にて2510地区内
21クラブの活動を誌面紹介させて
いただきました。
皆様のご協力ありがとうございました！

**2017-18年度
2018-19年度**

「財界さっぽろ」誌面掲載第2弾始動！

「ロータリー活動の広報」

国際ロータリー第2510地区広報・IC委員会

本事業継続決定！

地区内48クラブ
「記事掲載了承」
募集中！

記事掲載了承の
締め切り
**2017年
5月31日
迄**

ご連絡先
ガバナー事務所宛

お知らせ
広報・IC委員会

Rotary

Zones 1&2&3

コーディネーター NEWS

2017年5月号
発行: Zones 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター
今月号の担当 Zone 3RPIC

■会員基盤向上に資する「ロータリー公共イメージ向上」について

さる3月27,28両日東京で開催されたRI第1,2,3ゾーン会員基盤向上セミナーでは標記演題について各地の公共イメージコーディネーター関係者数名がそれぞれの切り口から持論を大変熱く語られ、とても印象的で貴重な時間を過ごすことが出来た。RIはロータリー発展のため戦略計画を大々的に取り入れるよう推奨し、その束ねた3本の矢の内の一つである公共イメージ向上も特別に力を入れている。戦略計画の最終ゴールは何よりもクラブの発展、そして会員増強であり、その為のイメージ向上は必須であり、それを活かさねばならないと説いている。

112年前シカゴの街で4人の青年実業家が集まりロータリークラブを創立し、それが現在会員数120万人を超える世界的巨大組織に成長した。その要因はロータリーが常に内外への広報宣伝活動を効果的に継続して来たこと、そしてどの時代にでもロータリー会員自ら日頃の理念に沿った職業奉仕を行い、世界中の各クラブが長年実施して来た質の高い奉仕活動を地域が世界が認知して来たからではないか。ここで先日のセミナーでの発表を参考にしながら今後の広報展開を如何になすべきかを考えてみたい。

・地区レベルで、

地区はクラブにロータリーのイメージ向上に繋がる情報を提供すべきである。例えばクラブ奉仕活動への取材活動を地区が代わってマスコミに申し入れる、クラブセントラルから情報収集を奨励する、地区へのBox投稿依頼を強く勧めている。特にIT、中でも各種SNSを駆使した映像による積極的発表、投稿は若い世代に強くアピールするだろう。一例として、第2670地区前田直俊ガバナー監修によるアニメ「おしえてロータリー」日本語、英語版があり、FB、YouTube、DVD等を通して誰でも鑑賞可能。これらは広く地域社会でロータリーの啓発活動や、ロータリークラブ新入会員の研修にも役立つすぐれた教材である。(第1図参照)

・クラブレベルで、

会員が汗を流し、地域のために良い事をした事実をマスコミが取材し、のちにマスメディアに載ることはとても立派な業績であり、ロータリーを社会に理解して貰える千載一遇の良い機会です。ここに第2690地区玉島RCと米子4RCの奉仕活動が新聞記事になった例を紹介する。なお、この記事は現在RIのBoxに収めてあります。各クラブでとても簡単に操作できるBoxを利用し、活用して下さい。(第2図・第3図参照)

・ロータリアン個人レベルで、

忘れてならないのは、会員各自が果たして来た長年の「くちコミ作戦と真摯な奉仕活動」こそロータリー発展の最大貢献者であり、今後戦略計画実施への大きなヒントになると確信する。色々な意味で直接対面での意思疎通は何事にも変えがたいお金のからならない広報宣伝戦略であろう。(第3ゾーンARPIIC 伊藤文利 倉吉RC)

	クラブ数	会員数
Zone 1	829	28,680
Zone 2	652	28,158
Zone 3	790	32,745
合計	2,271	89,583

2017年4月10日現在のRotary Club Centralのデータによります。
第2ゾーンの数値にはGUAM, MICRONESIA, NORTHERN MARIANAS, PALAUが含まれます。

■BOX登録件数
187件(1.2.3ゾーン合計)
2017年4月10日現在



第1図

倉敷・総社圏版
第2図

災害発生どう対応 玉島など中学生30人
ボランティア活動の一環として昨年開催された。山崎(左)が社会奉仕活動の一環として昨年開催された。

被災3地区(倉敷、総社、玉島)が社会奉仕活動の一環として昨年開催された。山崎(左)が社会奉仕活動の一環として昨年開催された。

米子の4ロータリークラブ
金沢翔子さんの書
全日空ホテルに寄贈
ダウン症の書家・金沢翔子さん(31)は東京都在住。米子市内のロータリークラブ(RC)のために筆を執った書の披露が18日、同市久米町の米子全日空ホテルであった。書の購入代金は、国際組織のロータリー財団がポリオ撲滅のために使う。

昨秋、境港市などで開かれたRCの地区大会で金沢さんが揮毫した。縦1・9m、横1・1mの和紙に大筆で書いた「夢」は、チャリティオークションで米子市内のRC4団体が共同で購入した。「翔」と書かれた作品は、米子RC所属の広江智恵和会理事長が購入し、運営する施設で展示する。2作品の代金計150万円はワクチンの費用などに充てられるという。

「夢」は、RCの例会などで利用する同ホテルに寄贈した。作品が掲げられた1階ロビーで開かれた式典にはRC関係者約20人が出席。勢いを感じさせる筆遣いの書に拍手がわいた。地区大会で代表者に当たるガバナーを務めた庄司尚史(式典司会)は、米子市長は「書を見るたびに、ポリオ撲滅への意識を高めてほしい」と話した。(陰山篤志)

第3図

この書は第2690地区米子市内4RCが市民に未永く鑑賞してもらうために共同購入したものである。



★米山奨学生のご紹介★

5年間の留学と1年間の米山奨学生の生活 金漢殷 第2510地区:北海道医療大学歯学部 韓国 当別RC

初めまして、私は北海道医療大学歯学部6年生金漢殷(キムヨンウン)と申します。2012年の秋に日本に来て、翌年春に現在の大学に編入し5年間歯医者の勉強をしています。去年から米山奨学生として当別ロータリークラブでお世話になっています。

日本に来てから5年間、石狩当別に住み続けています。今まで学校の友達以外の知り合いはいませんでした。米山奨学生として去年から毎月当別ロータリークラブの例会に参加することができ、ここで住んでいるクラブの皆さんと知り合うことができました。

いつも私のことを温かく見守って下さって、テストがある時は「テスト頑張つてね」と応援してもらったり、「みんなで焼肉しよう!」と誘われたり、美味しいケーキやスイーツがある時などはいつも私の分も用意して下さっています。すごく良くしていただいて、いつも心より感謝しています。

今年は大学生としての最後の一年です。卒業した後も日本にいるかはまだわかりませんが、この縁を大切に続けていきたいと思えます。クラブの皆さんいつもありがとうございます。今後ともよろしくお願ひします。



ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

札幌北RC	斉藤 昌一 会員(2回)	3月 9日
札幌手稲RC	吉田 守宏 会員(1回)	3月29日
札幌南RC	朝妻 邦雄 会員(3回)	3月14日
札幌南RC	島津 宏興 会員(4回)	3月14日
札幌南RC	福山恵太郎 会員(6回)	3月14日
札幌南RC	クリステン・キム 会員(6回)	3月14日
小樽RC	泉 侑 会員(1回)	3月17日
小樽RC	吉村 克之 会員(3回)	3月17日
長沼RC	天野 敦子 会員(2回)	3月29日
長沼RC	青木 雄一 会員(2回)	3月29日
長沼RC	清水 彰 会員(2回)	3月29日
長沼RC	高木 繁秀 会員(2回)	3月29日
伊達RC	安宅 修治 会員(1回)	3月 9日
伊達RC	大光 巖 会員(2回)	3月 9日
伊達RC	栗橋 義徳 会員(3回)	3月 9日
伊達RC	佐久間重行 会員(3回)	3月 9日

ポール・ハリス・フェロー

札幌南RC	伊藤 清 会員	3月14日
函館RC	佐藤 英教 会員	3月23日

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

札幌手稲RC	松井 克彦 会員(1回)	3月27日
札幌東RC	青木 功喜 会員(10回)	3月31日
小樽RC	泉 侑 会員(2回)	3月14日
余市RC	川向 基紀 会員(1回)	3月10日
余市RC	本多 宏行 会員(2回)	3月10日
余市RC	森 義彦 会員(4回)	3月10日
室蘭北RC	荒谷 信幸 会員(1回)	3月31日
室蘭北RC	菅原 義男 会員(1回)	3月31日
登別RC	千葉 泰二 会員(1回)	3月27日

米山功労クラブ

札幌手稲RC	27回	3月27日
札幌東RC	45回	3月31日
札幌南RC	43回	3月 2日
室蘭北RC	8回	3月31日
余市RC	5回	3月10日

米山梅吉記念館便り

シリーズ⑨ 米山梅吉の横顔

米山梅吉の青山学院への奉仕は大正5年頃には既に見られますが、何と云っても青山学院初等科の創立で、米山の、整備拡充よりも初等教育の充実を重視する教育論の実践でした。昭和12年に竣工した校舎は全額私財を投じて建設されたもので一切の寄付は仰ぎませんでした。学院が直営の予定でしたが許可が難航し、青山学院小学財団を設立、同財団立「緑岡小学校」として発足しました。男女25名ずつが入学し、初代校長は米山でした。経営方針は7条あって、「学校後援会、保護者会等の支援団体は認めない」「児童の教育は学校の手によって行う。学校を信じて委されたい」「人にされて嬉しかったことを人にもせよ」等でした。



青山学院緑岡初等学校正門と校舎

米山梅吉関連図書を紹介



B5判 記念館35周年記念誌 本文268ページ/2,500円

米山梅吉の聲音 記念館刊

米山梅吉の「生い立ちと人となり」「ロータリーとのかかわり」「記念館の歴史」などが詳細に解説されています。資料編としては、米山梅吉の会議や大会での挨拶や講演、ロータリー月報やラジオ放送の内容なども掲載。記念館所蔵の図書目録、年表など網羅されています。

記念館の月桂樹前にポール・ハリス植樹レリーフを設置 昭和10年来日折、ポール・ハリスが月桂樹を帝国ホテル前庭にお手植えし、記念館にはその2世が植えられています。



公益財団法人 **米山梅吉記念館**
〒411-0941 静岡県駿東郡長泉町上土狩346-1
TEL:055-986-2946 FAX:055-989-5101
URL: <http://yoneyama-umekichi.jp>
Email: yumh@ai.tnc.ne.jp
【開館時間】午前10時～午後4時
【休館日】月曜日/12月28日～1月4日/整理のための休館日(5月・8月の特定日)



★ハイライトよねやま205号★

2017年4月11日発行
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

《今月のピックアップ記事》

2017学年度新奨学生オリエンテーションがスタート

2017学年度の奨学生は795人となりました。新規採用者が615人、継続者が180人です(4月10日現在)。国・地域別にみると、中国が39.5%、次いでベトナム13.8%、韓国11.9%、台湾5.0%の順となっています。ベトナムは2009学年度以降、台湾を抜いて3番目に奨学生数の多い国として著しく増加していましたが、今年は、韓国を抜いて2番目に多い割合を占めています。

プログラム別では、学部・修士・博士課程ロータリー米山記念奨学金が747人(学部課程:292人、修士課程:265人、博士課程:190人)、地区奨励奨学金15人、クラブ支援奨学金2人、海外学友会推薦奨学金6人、海外応募者対象奨学金25人となっています。

4月～5月にかけて各地区でオリエンテーションが開催されます。オリエンテーションは初めて学生とカウンセラーが出会う場であり、奨学生としての義務やロータリーについて理解してもらう場です。確約書に署名をした後、正式に米山奨学生となります。どうぞ温かくお迎えくださいますようお願いいたします。

そのほかの記事は、ぜひPDF版をご覧ください。

→ http://www.rotary-yoneyama.or.jp/summary/pdf/highlight205_pdf.pdf

新会員の紹介

(敬称略)



三石RC
橋本 勝司
1月1日入会
自動車修理業



伊達RC
水上 由香
4月4日入会
不動産賃貸業



室蘭東RC
今野 隆男
4月5日入会
司法書士



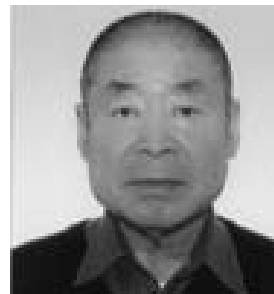
室蘭東RC
堺 俊光
4月5日入会
高等学校教育



新札幌RC
石崎 薫
4月5日入会
電力供給



岩見沢RC
宮崎 三徳
4月6日入会
シティホテル



岩見沢RC
荒井 悦生
4月6日入会
不動産賃貸業

訃報

謹んでお悔やみ
申し上げますとともに
心からご冥福を
お祈り致します



石田 誠 会員(札幌手稲RC)
2017年3月31日ご逝去(享年89)

【ロータリー歴】
1971年7月3日入会
1983-84年度 会長
1990-91年度 地区幹事
1997-2000年度 地区情報委員会委員長

ロータリー財団メジャードナー
米山功労者マルチプル 5回
永年出席100%表彰40年

地区カレンダー(5月・6月)

5月 青少年奉仕月間	
1(月)	
2(火)	
3(水)	憲法記念日
4(木)	みどりの日
5(金)	こどもの日
6(土)	
7(日)	
8(月)	
9(火)	
10(水)	
11(木)	
12(金)	
13(土)	長沼国際交流フェスティバル(長沼)
14(日)	
15(月)	
16(火)	
17(水)	
18(木)	
19(金)	
20(土)	第12グループIM・苫小牧RC創立60周年(苫小牧)
21(日)	第1グループIM(羽幌)
22(月)	
23(火)	
24(水)	
25(木)	
26(金)	
27(土)	
28(日)	
29(月)	
30(火)	
31(水)	

6月 ロータリー親睦活動月間	
1(木)	
2(金)	
3(土)	第10・11グループ合同IM(函館)
4(日)	
5(月)	
6(火)	札幌はまなすRC創立25周年予定(札幌)
7(水)	
8(木)	
9(金)	
10(土)	~14(水)国際大会(米国・アトランタ) ロータリー財団100周年祝賀行事
11(日)	
12(月)	
13(火)	
14(水)	
15(木)	
16(金)	
17(土)	インターアクト年次大会(岩見沢)
18(日)	現新地区委員長・ガバナー補佐合同引継ぎ会議(札幌)
19(月)	
20(火)	
21(水)	
22(木)	
23(金)	JGFR北海道大会(北広島)
24(土)	ローターアクト年次大会(札幌) 第2グループIM・芦別RC創立60周年(芦別)
25(日)	
26(月)	
27(火)	
28(水)	
29(木)	
30(金)	

2017年5月のロータリーレート 1ドル110円

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			2016.7.1	2017.3.31	増	減	
1	深川	4	34	34	0	3	80.44
	羽幌	4	46	46	0	2	77.72
	妹背牛	4	9	9	0	0	88.88
	留萌	4	38	34	-4	3	75.55
	小計		127	123	-4	8	80.65
2	赤平	4	25	26	1	1	80.46
	芦別	5	34	34	0	2	72.00
	砂川	5	39	41	2	1	90.45
	滝川	5	83	89	6	4	72.00
	小計		181	190	9	8	78.73
3	美唄	4	30	29	-1	0	85.59
	江別	5	33	34	1	1	78.82
	江別西	4	28	27	-1	3	87.00
	岩見沢	4	78	75	-3	0	91.42
	岩見沢東	3	21	19	-2	2	85.38
	栗沢	4	20	20	0	1	93.60
	栗山	4	27	28	1	5	88.07
	当別	4	28	28	0	0	92.30
	小計		265	260	-5	12	87.77
	4	札幌	3	120	125	5	1
札幌はまなす		4	18	21	3	3	80.96
札幌北		3	36	42	6	4	93.50
札幌モーニング		3	37	37	0	0	68.61
札幌西		3	48	47	-1	8	81.95
札幌西北		4	33	33	0	3	83.00
札幌手稲		3	39	39	0	4	92.19
小計			331	344	13	23	85.63
5		札幌東	4	128	132	4	0
	札幌清田	3	15	15	0	4	100.00
	札幌幌南	4	68	69	1	11	98.03
	札幌真駒内	4	23	23	0	5	100.00
	札幌南	3	84	84	0	1	97.62
	札幌大通公園	2	12	15	3	3	67.00
	新札幌	4	23	24	1	3	96.43
小計		353	362	9	27	94.07	
6	岩内	5	20	21	1	1	82.86
	倶知安	5	41	42	1	5	60.50
	小樽	4	75	76	1	3	78.33
	小樽南	4	67	65	-2	2	83.57
	小樽銭函	4	17	17	0	1	92.00
	蘭越	3	10	10	0	0	90.00
	余市	5	42	44	2	5	83.70
	小計		272	275	3	17	81.57

※札幌南RCには札幌幌南ライラックロータリー衛星クラブの会員数12名(内女性会員6名)を含む

3月出席率・会員増減数	クラブ数	69クラブ
	期首会員数	2,534人
	当期末会員数(女性)	2,605人(154人)
	増加会員数	71人
	当月平均出席数	82.35%

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			2016.7.1	2017.3.31	増	減	
7	千歳	3	58	60	2	5	77.10
	千歳セントラル	4	39	44	5	7	81.40
	恵庭	4	48	49	1	3	81.26
	北広島	4	19	20	1	1	86.00
	長沼	3	18	18	0	3	79.63
	由仁	2	6	7	1	0	78.57
小計		188	198	10	19	80.66	
8	えりも	2	18	17	-1	1	100.00
	三石	3	12	12	0	0	66.60
	様似	4	21	21	0	1	72.02
	静内	4	68	70	2	4	65.22
	浦河	3	23	27	4	2	76.54
小計		142	147	5	8	76.08	
9	伊達	4	55	60	5	0	83.33
	室蘭	4	35	38	3	1	71.10
	室蘭東	4	32	32	0	0	81.10
	室蘭北	4	42	42	0	3	82.74
	登別	5	29	30	1	1	83.33
	洞爺湖	2	9	10	1	0	88.80
小計		202	212	10	5	81.73	
10	函館	4	76	79	3	0	81.50
	函館亀田	3	42	41	-1	4	83.04
	森	4	36	37	1	0	65.54
	七飯	4	13	13	0	0	73.00
11	長万部	3	8	8	0	0	62.50
	函館セントラル	4	19	22	3	2	70.46
	小計		194	200	6	6	72.67
	江差	4	11	11	0	1	59.09
	函館五稜郭	4	47	54	7	0	80.18
	函館東	4	45	46	1	7	75.00
12	函館北	3	22	22	0	0	96.75
	北斗	5	13	13	0	0	61.50
	小計		138	146	8	8	74.50
	白老	3	34	31	-3	3	78.00
合計	苫小牧	5	53	58	5	3	84.86
	苫小牧東	4	26	30	4	5	88.34
	苫小牧北	4	28	29	1	2	99.08
小計		141	148	7	13	87.57	
合計		2,534	2,605	71	154	82.35	



- ①ガイ・ガンディーカー (Guy Gundaker 1873~1960) 1923-24年度RI会長。アメリカ・フィラデルフィアRC会員です。ポール・ハリスの親しい友人でもありました。1923年9月1日、日本は関東大震災に見舞われましたが、当時RI会長だった彼は直ちに、励ましの電報と支援金2万5,000ドルを、被害に遭わなかった大阪RCを經由して送っています。
- ②農業および園芸職業教育私立の高校のインターアクターは、学校があるリニャックから遠くない、フランスのパラックヴィルの湖畔にある公園のクリーンアッププロジェクトの前に彼らの教師とポーズ。インターアクト・クラブはアヴェロン・ロデーズにあるロータリークラブがスポンサーとなっています。
- ③学生のベーカリーは、2006年11月7日、インド、タミル・ナドゥ州チェンナイの職業訓練センタープログラムの一環として、ウィナーズ・ベーカリーで商品を陳列します。6ヶ月コースのこのセンターでは、恵まれない青少年にベーカリーのスキルを教え、ベーカリーで学生製品を販売しています。このセンターは、マドラス・イースト・ロータリークラブと3-H Grantおよびチェンナイ・コーポレーションの資金提供を受けています。
- ④フランスのリニャックにある農業および園芸職業教育私立高校は、地元の小学校の生徒に営利企業を作る方法を教えています。生徒は一緒に協力して焼きたてのペーストを作ります。インターアクト・クラブは、アヴェロン・ロデーズにあるロータリー・クラブがスポンサーとなっています。
- ⑤フランスのリニャックの町の広場でフィリピンの顔の手術に資金を提供するためにお金を稼ぎます。地方住民と仲間のインターアクターは、焼きたてのパンを購入するために立ち寄ります。インターアクト・クラブは、アヴェロン・ロデーズにあるロータリー・クラブがスポンサーとなっています。

文庫通信

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

(355号)

講演他	
「日本の出番、祖国は甦る」	青山繁晴 2016 1p (D.2680地区大会記録誌)
「世界の中の日本」	五百旗頭 真 2016 9p (第44回ロータリー研究会報告書)
「日本のこころ」	松長有慶 2015 7p (D.2660地区大会記録誌)
「職業奉仕の今日的課題と持続企業」	パネラー:前川洋一郎・山本泰人・中川雅雄 2016 6p (D.2580地区大会記念誌)
「21世紀をどう生きるか」	安平和彦 [2016] 15p (D.2670・D.2680第38回RYLA報告書)
「現代家族の課題」	白石大介 [2016] 12p (D.2670・D.2680第38回RYLA報告書)
「ダウン症の娘と共に生きて」	金澤泰子 2017 6p (D.2690地区大会記念誌)
「夢に向かって」	根木慎志 2016 7p (D.2750第36回インターアクト年次大会報告書)
「若者の未来のためにできること」	養老孟司 2015 11p (D.2660地区大会記録誌)
「父が見つけてくれたもの」	小林 真 2011 6P (奉仕のともじびを高く掲げて)

【上記申込先:ロータリー文庫】

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
 TEL(03)3433-6456 FAX (03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
 開館/午前10時~午後5時 休館/土・日・祝祭日